



大阪市立 東中川小学校

校長名 山本 裕康

所在地 〒544-0001 大阪市生野区新今里7-14-37

電話 06-6752-2865 FAX 06-6751-8675

URL <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e671488>



主な学校行事

4月	入学式、対面式、学力テスト、家庭訪問
5月	学習参観・学級懇談会、全校遠足
6月	運動会、地域合同防災避難訓練、自然体験学習、学習参観、プール開き
7月	プール納め、個人懇談会、プール開放、学びの教室
8月	校庭キャンプ（地域）、始業式
9月	東中川子どもまつり、学習参観・学級懇談会
10月	就学時健康診断、遠足、修学旅行、芸術鑑賞会
11月	学習発表会
12月	経年調査テスト、個人懇談会
1月	学習参観
2月	卒業遠足、学習参観・学級懇談会
3月	卒業を祝う会、卒業式、修了式



標準服

有



教育目標

豊かな心をはぐくみ、自ら学び、体力づくりに励む子どもを育てる

重点目標

- 子どもが安心して成長できる安全な学校、家庭、地域の実現
- 心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上

令和4年度全国学力・学習状況調査

● 平均正答率（％）

国 語	算 数	理 科
51	53	48

● 結果概要

〔国語〕 領域別の正答率を見ると、「言葉の特徴や使い方に関する事項」は17.2P、「我が国の言語文化」は16.4P、「話すこと・聞くこと」は20P、「書くこと」は13.9P、「読むこと」は8.9Pそれぞれ全国平均を下回る結果となった。このような結果の中、「表現の効果を考える」設問の正答率については全国平均とほぼ同じであった。

〔算数〕 正答率を見ると、「数と計算」は14.5P、「図形」は9.5P、「変化と関係」は3.9P、「データの活用」は11.4Pそれぞれ全国平均を下回る結果となった。しかし、「変化と関係」においては、割合の知識技能に関する設問や割合と基準量から比較量を求める設問については全国平均正答率との差は1％未満であった。

〔理科〕 17問中14問において、正答率が全国平均を10P以上下回る結

果となった。そのような結果の中でも、「メスシリンダーの使い方」を問う設問では、全国平均を約5P上回った。基礎・基本の定着とともに実験や観察を通して必要な技能、科学的な分析・解釈をする力を伸ばす必要がある。

● 自校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

短時間学習や多様な授業形態を通じた取り組みとして、東中川タイム（短時間学習）での算数プリントを中心とした基礎基本の定着、習熟度別少人数学習での個に応じた指導や放課後学習での苦手な課題の復習を行った。国語科の文章読解や算数科の記述式の問題に対する理解は低い傾向がみられ、引き続き学習内容の更なる工夫が必要である。家庭学習が定着していない児童が依然として多くみられるため、家庭学習の取り組み方を提示するなど、支援の工夫や家庭への啓発を引き続き行っていく。

また、基本的な生活習慣の確立や自尊感情を高める取り組みについては、家庭と連携した取り組みを計画していく必要がある。

令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査

● 種目別平均値

性別	握力 (kg)	上体起こし (回数)	長座体前屈 (cm)	反復横跳び (回数)	20mシャトルラン (回数)	50m 走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ソフトボール投げ (m)	合計得点
男子	17.24	19.81	37.81	41.71	51.14	9.15	152.81	26.24	56.10
女子	14.79	17.55	38.00	36.50	34.13	9.53	134.83	12.26	51.20

● 結果の概要

・男子はすべての項目において大阪市・全国平均を上回る結果となった。女子は、「20mシャトルラン」「50m走」において大阪市・全国平均を上回ったが、その他の種目では下回り、体力合計点においても大阪市・全国平均を下回った。

・質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」では、男女ともに大阪市・全国平均を上回っている。女子においては「好き」が約33％と低く「やや好き」は61.9％だった。

・1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合については、男子は0％だった。一方、女子は17.3％で、大阪市平均とほぼ同じだが、全国平均を約3ポイント上回った。

・運動についての意識や1週間の総運動時間についての質問項目の回答結果と実技の結果に深い関係があることがわかった。

● 自校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

・各学級にボール、ドッジビー、大縄を配布し、休み時間に自由に使えるようにしている。また、竹馬と一輪車を使いやすい場所に設置しているため、使用率が高い。

・かけ足週間や縄跳び週間、ゲストティーチャーの招聘などを通して、運動の楽しさを友達と協力したり励ましあったりすることの大切さを継続して実感させる活動を行っている。

・運動時間の確保のため、休み時間に外で体を動かすよう取り組んでいる。各学級で係を中心に遊ぶ機会を作っている。自発的な運動につながるよう取組の工夫が必要である。

・「シナプソロジー」を活用し、低・中学年からの計画的な体力向上に努める。

校長先生のメッセージ

本校は、令和5年度に創立86年目となる歴史ある小学校です。校区は広く15町会の組織があります。子ども達の安全・安心の取り組みとして、登下校見守り隊や、子どもネットワークによるキャンプ、遊び場開放など「地域の子ども」を育てる取り組みが充実した地域です。コロナ禍においても工夫した取り組みを行ってきました。学校の教職員は研究活動や生活指導に、一生懸命頑張っています。

運営に関する計画

● 計画のエッセンス

- ・学力向上、体力向上、生活指導、人権教育、多文化共生教育を主軸に具体的な取り組みを設定しています。
- ・一人ひとりの子どもを大切に、思いやりの心や規範意識、自尊感情を育てる温かみのある教育活動をめざしています。

● 中期目標、年度目標等

【安全・安心な教育の推進】

- ・児童アンケート「学校は楽しいですか」の項目で肯定的な回答をする児童の割合を80%以上にする。
- ・児童アンケート「学校のルールは守れていますか」の項目で肯定的な回答をする児童の割合を80%以上にする。
- ・児童アンケート「場に応じたあいさつができていますか」の項目で肯定的な回答をする児童の割合を85%以上にする。
- ・多文化共生教育に関わる学習プログラムを各学年において年間1単元作成し実践し、児童アンケート「外国の文化について興味をもちましたか」の項目について肯定的な回答をする児童を75%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・小学校学力経年調査における「家やいきいき活動、放課後学習などで、学校の宿題をしていますか」項目で肯定的な回答をする児童の割合を80%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「授業の内容はよく分かりますか」の項目で、肯定的な回答をする児童の割合を国語・算数ともに75%以上にする。
- ・児童アンケート「理科の学習は楽しいですか」の項目で肯定的な回答をする児童の割合を70%以上にする。
- ・児童アンケート「外国語（英語）の学習は楽しいですか」の項目で肯定的な回答をする児童の割合を80%以上にする。
- ・児童アンケート「外で遊ぶことは好きですか」の項目で肯定的な回答をする児童の割合を80%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・授業において学習者用端末を週1回以上使用し、児童アンケート「タブレット端末を使ってすずんで学習していますか」の項目で肯定的な回答をする児童の割合を70%以上にする。
- ・児童アンケート「本を読むことは好きですか」の項目で肯定的に答える児童の割合を70%以上にする。
- ・教員の月平均時間外勤務時間を40時間以下にする。

「特色ある学習活動」 および 「家庭・地域等との連携」

特色ある学習活動

■ 学校行事「魅力あふれる様々な行事」

運動会をはじめ、入学式、学習発表会、卒業式、全校遠足、子どもまつり、芸術鑑賞会など東中川小学校には様々な行事があります。子どもたちが楽しく学校生活を送るために教職員が協力して行事の運営にあたっています。また、学期に1回の避難訓練に加えて、毎年1回地域と協力して地域防災避難訓練も行っています。子どもたちが安心安全に過ごせるための取り組みも充実しています。



特色ある学習活動

■ 学校の環境Ⅰ「様々な学習ができる充実した施設」

講堂の向かいには東中川小自慢のミーティングルーム、玄関にはピロティがそれぞれあります。ミーティングルームには、「ロビー」「和室」「ホール」の3つの施設があり、「ロビー」は少人数でじっくり学習でき、「和室」は畳に座って読書やグループ学習ができます。ホールは大人数での学習や集会や発表会等、多目的に使えます。また、玄関ピロティは、子ども達のコミュニケーションの場として使われています。



特色ある学習活動

■ 学校の環境Ⅱ「太陽の下で生き生き学習活動」

玄関ホールをぬけると、季節によっていろいろな花や野菜などを学年ごとに育てることができる「学習園」が広がります。5年生が米作りを体験する田んぼもあります。ベンチとテーブルがある「ふれあい広場」では、休み時間に友だちと話したり、学習したりとゆったりすごせます。天気の良い日には青空給食を楽しむこともできます。6月になるとプール学習が始まります。屋上にある広いプールで楽しく学習しています。



家庭・地域等との連携

■ 見守り隊「毎日、安心と安全をありがとう」

毎日50名以上の地域の方々が、子ども達が安全に登校できるように見守ってくださっています。「おはよう」「朝ごはんしっかり食べたか」「信号を守ろうね」子ども達の顔を見ながら優しく話しかけ、遅れてきた子を学校まで送り届けてくれています。地域防災避難訓練でも子ども達を学校まで安全に誘導するなど活躍しています。学校では、日ごろお世話になっていることへの感謝の気持ちを忘れないように、見守り隊の方々との交流会を行っています。

